





脊椎麻酔で子宮鏡下手術を受けられる方へ

◆ 外来での準備

月経の一時停止	月 日 () <input type="checkbox"/> GnRHアゴニスト (リュープロレリン) 皮下注 <input type="checkbox"/> GnRHアンタゴニスト (レルミナ) 内服	子宮鏡下手術は子宮内膜が薄い状態でしか行えません。自然周期では月経が終わる頃から終了直後の期間に限られます。予定を立てやすいよう、一時的に排卵・月経を止めるホルモン薬を使用します。 ・月経が始まったら5日目までに来院してください。 <input type="checkbox"/> 筋腫が大きい場合、過多月経など症状が重い場合、手術希望日まで3週間以上ある場合は、約1か月間効果が持続する注射薬を注射します。 <input type="checkbox"/> 筋腫があまり大きくない場合、早めの手術を希望される場合は、内服薬を手術前日まで毎日1錠服用します。服用終了後約1カ月で月経が再開します。
術前検査	月 日 () 絶飲食 (水のみ可) でお越しください	手術の1~2週間前に検査 (腔と子宮の感染症検査、採血、心電図など) を行います。 ※ 検査値に異常があった場合は電話で連絡します。 ※ 入院までの1週間、処方した下剤を服用してください。 ※ 風邪など体調を崩さないよう気をつけてください。
入院・手術	月 日 () 朝食は軽めにとってお越しください	手術当日の11時頃に入院し、子宮の入口を広げるための処置を行います。15時頃から手術を開始します。 ※ 必要な物品：大きめのバスタオル (T字帯とナプキンは病院で準備します) ※ 現在内服中の薬を入院時に持参してください
退院	月 日 ()	手術翌日に診察をして、問題がなければ退院できます。 ・術後は癒着防止のため子宮内避妊具 (IUD) が入ります。子宮収縮による痛みや不正出血が認められることがあります。鎮痛薬で様子をみてください。 ・GnRHアゴニストを注射した方は、子宮内膜の再生を促すためにホルモン補充療法を行います。薬を20日間使用し終わったら月経が始まります。 ※ 体調に問題がなければ就労可能です。 ※ 診断書が必要な方は希望する療養期間をお伝えください。
退院後診察	<input type="checkbox"/> 次回月経後 <input type="checkbox"/> 約 日後	術後経過が順調か超音波検査などを行なって確認し、避妊器具を除去します。 ・病理組織検査の結果をお伝えします ・月経終了後に子宮ファイバースコピー検査を追加することもあります。

◆ 入院後のスケジュール

	説明・指導	生活	食事	処置	投薬	検査	
入院手術当日	術前	・看護師が入院生活について説明します	・義歯、コンタクト、貴金属をはずしましょう	・13時頃まで水分をとれます	・子宮口を広げる吸水性の拡張剤を入れます	・手術前に点滴を始めます	
	術後	 ・麻酔が切れたら歩行できます ・痛みは我慢せずおっしゃってください	・夜から普通の食事ができます	・手術時に膀胱に管が入ります ・歩行できれば膀胱の管を抜去します			
1日目 (退院)	・手術結果、退院後の生活、今後の方針を医師が説明します				・朝食後から薬を服用します ・GnRHアゴニストを注射した方はホルモン補充療法を始めます	・朝に採血があります ・診察と超音波検査を行います	